100% Natural, Organic & Biodynamic Fine French Wines



Domaine Christian Ducroux / Regnie

▼ 生産者:クリスチャン・デュクリュー/レニエ

ヴァン・ナチュール第一人者が引出すガメイの美味しさ















概要

クリスチャン・デュクリュー氏は1970年からレニエでワイン作りを始めました。1980年代からビオディナミに注力していきますが、ボージョレ地区だけでなく、フランス全土をみても、この農法を取り入れた最初の生産者の一人です。1985年にナチュール・プログレの認証を得て、その後にDemeterを得ました。4.3ヘクタールの畑は、微生物の働き、繊細な土壌を守るため、重たいトラクターではなく、HévanとKaïna(クリスチャンの双子の雌馬)を使って土を耕し、1ha当たり1万株という密度で植えられたブドウ樹は短く剪定され、収穫量をコントロールしています。また堆肥は必要な時以外は与えず、テロワールの力を最大限に引き出すことに努めています。

栽培•醸造

では、ボージョレーの歴史的な都市であるボージュから5キロ離れたランティニエ・ドゥレットの村落にあります。花崗岩質の古代地層の上に広がり、南東に傾斜、微気候、日照時間など葡萄栽培にとても適しています。20年以上に渡ってビオディナミのルールに乗っ取って耕作されています。ブドウの木々は、マッサルセレクションによって選ばれたものです。化学製品は一切使われておらず、薬草やミネラルを原料とした肥料などを使用。また、土地や星などのリズムを重視しています。動植物の多様性も尊重することで、畑はとても活力に溢れ、健康的に維持されています。

土壌へのトラクターの利用は土地の圧縮を避けることから最小限に抑えられ、主に彼の所有する双子の雌馬を使って耕作を行います。ブドウの木々は7畝中の2畝を引き抜き、そこに下草と花を植えています。これにより、益虫を引き寄せることを試みています。また、周囲に木を植え、鳥を呼び寄せることも行っています。

収量は、この地域では非常に低く、たいてい35hl/haあたりです。そのため、ワインはちょうど良い凝縮感にあふれています。収穫は手摘み。醸造は、人為的介入を極力排除しています。木製の桶を使って、自然酵母によるセミマセレーションカーボニック発酵を行います。だいたい、発酵は3日から6日間続きます。そして、熟成は大樽で行います。濾過、清澄は行いません。また、二酸化硫黄の添加も必要がなければ行いません。味わいはピュアで果実味に溢れています。アルコール度数の高いワインでもなく、とてもバランスの取れたワインを毎年生産しています。

100% Natural, Organic & Biodynamic Fine French Wines



Domaine Christian Ducroux / Regnie

▼ 生産者:クリスチャン・デュクリュー/レニエ

Prologue (プロローグ) Vin de France 品種:ガメイ 価格:3400円(税別) 色:赤 2019年 アルコール度数:11.48 樹齢:N/A SO2合計:N/A 栽培:有機農法 SO2自由:N/A 収穫:手摘み 認証:Nature & Progre, Demeter 醸造:自然酵母	外観:濃い目の紫色にピンク・淡い紫色の縁。無濾過による 澱があるので、しっかり沈殿させないとにごります。 芳香:赤い花やスミレ、イチジクジャム、熟した赤い果実。抜栓 時から芳香の立ち上がりは良いです。例年より明るい感じ。こ こ最近同様、還元的なニュアンスはありません。 味わい:例年よりジューシーでアプローチしやすい気がします。 アルコール度数も高くないので、適度な新鮮さで、タンニンも 滑らか、ブドウがよく熟した年ということが分かります。 ヌーヴォ的なパツパツ感や軽快さはなく、フレッシュですが落 ち着いた味わいです。
--	---

クリスチャン・デュクリュー氏より2018年ヴィンテージについて。

【2年続けて気候的には問題なく、よく熟したブドウを収穫できました。(2018年よりわずかにアルコール度数は低いです)農学とは異なった方法で常に干ばつを抑制しています。 今年は約250種類の受粉低木を、既存の樹木の間に植えました。】